

# 総合戦略

## (1) 目的・背景

### ① 目的

第3期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第3期総合戦略」という。)の目的は、人口減少と東京一極集中という課題に正面から向き合い、町の持続可能な発展を実現するための包括的な戦略を策定することです。これにより、本町が若者や女性をはじめとする多様な人々に選ばれ、住み続けられる地域となることを目指します。

また、「地方創生2.0<sup>※</sup>」に基づき、単なる人口維持策ではなく、地域経済の稼ぐ力の強化、安心して暮らせる生活環境の創出、地域の魅力を高める取組を包括的に推進することも重要な目的です。

事業の推進に当たっては、デジタル化による効率化や利便性の向上についてメリットとデメリットを十分検討することとします。

### ② 背景

#### 急激な人口減少と高齢化の進行

本町を含む地方では、生産年齢人口が大きく減少し、高齢化率は上昇の一途をたどっています。このままでは地域産業の担い手不足や、日常生活に必要なサービスの維持が困難になります。

#### 若者・女性の地域離れと東京一極集中

特に進学や就職を契機に、若年層が東京圏に集中する傾向が強く、女性は一度移住すると地方に戻らない傾向も指摘されています。

#### 生活基盤の脆弱化

医療、交通、買物など生活に不可欠なサービスの維持が困難となり、住民の生活満足度の低下が地域からのさらなる人口流出を招いています。

#### 地域経済の競争力不足と賃金格差

地方部では労働生産性が都市部に比べて低く、賃金格差も存在します。このため、若者が地域に残りたいと感じられる魅力ある産業が少ない状況です。

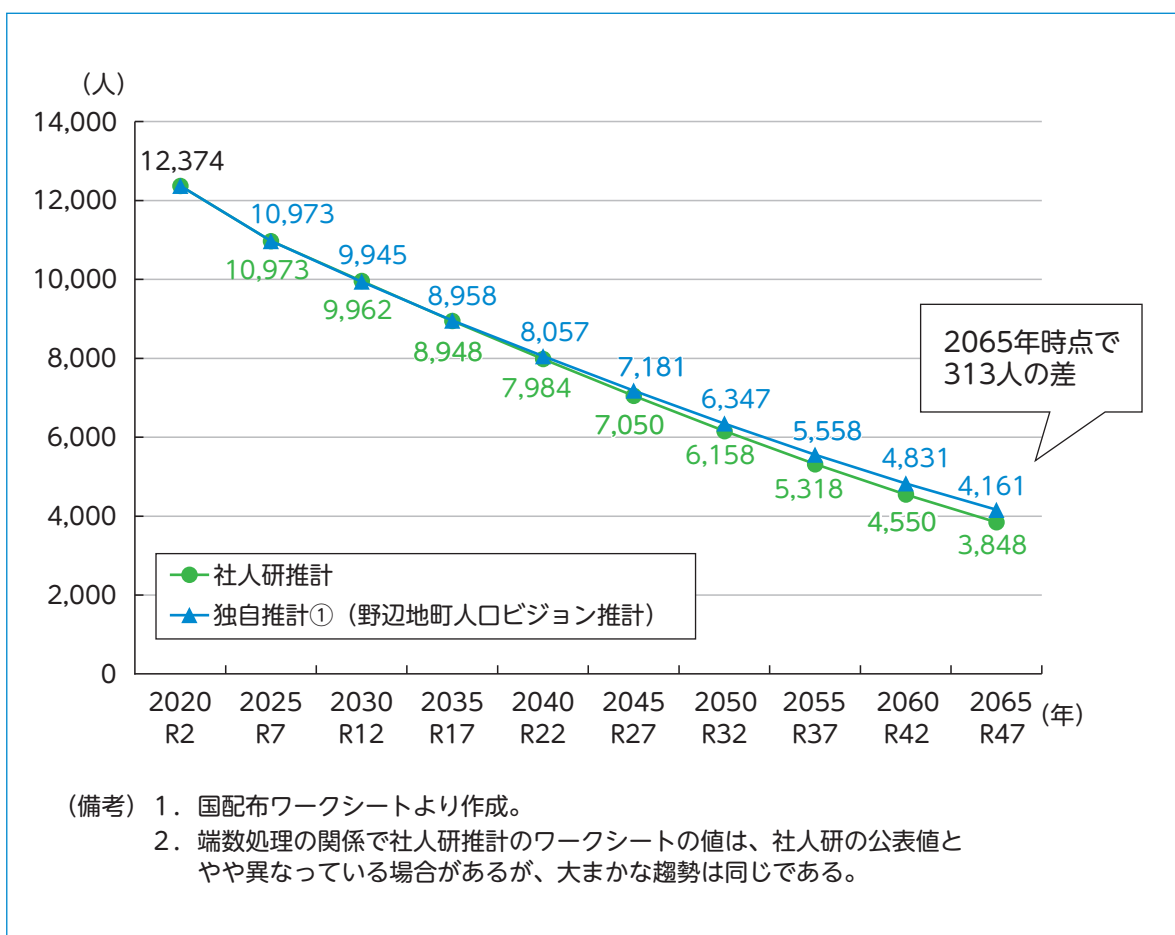
#### 「地方創生1.0」の限界と反省

これまでの取組では、一部の成功事例はあったものの、全国的な効果にはつながらず、地域間での人口の奪い合いになった面も否めません。

## (2) 計画の期間

対象期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間とします。

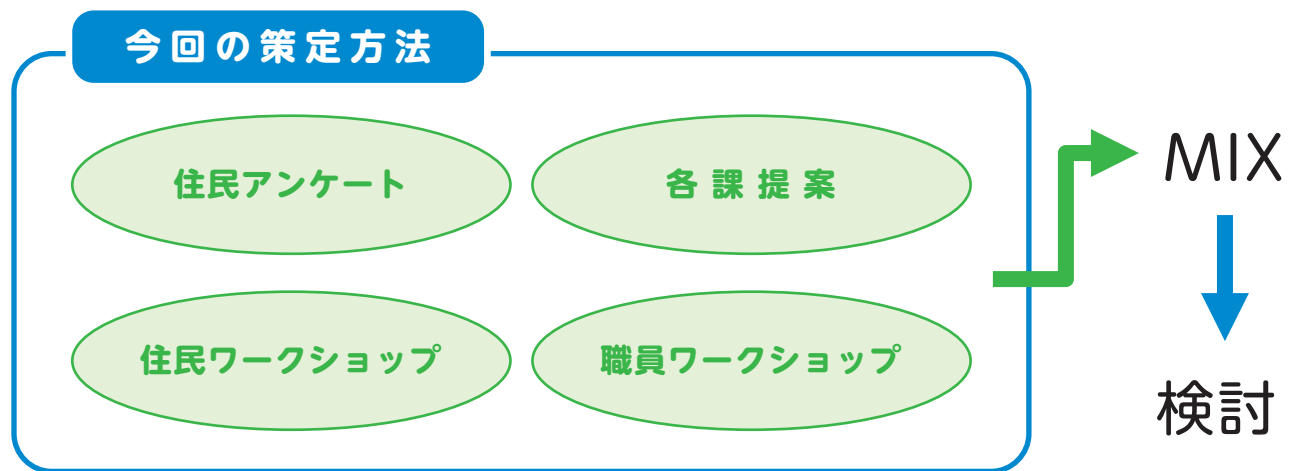
## (3) 第3期人口ビジョン(令和8年3月策定)での将来展望



# 施策体系

第3期総合戦略は、第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略、国の総合戦略「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」及び青森県の総合戦略「あおり創生総合戦略」を踏まえ、デジタル技術を活用しながら継続的な人口減少対策を講じていくとともに、未来を見据えてワクワクするような事業を展開し、住民や各種団体、企業等と協力しながら人口減少対策を講じていくこととします。

基本目標	対応する第2期の目標	主な事業
①【地域経済の再興と雇用創出】	郷土の生業を創る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ふるさと納税推進</li> <li>◆のへじ祇園まつりを通じた交流人口・出会いの場の拡大</li> <li>◆起業・創業支援</li> </ul>
②【暮らしやすさの向上と定住促進】	郷土の住みやすさを実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災力・防犯体制強化</li> <li>◆空き家等関連支援</li> <li>◆モビリティ・マネジメントの実施</li> <li>◆移住・定住促進のための環境整備・受入体制強化</li> </ul>
③【安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化】	郷土の人の身体と心を守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆育休・病休・看護休暇を取りやすい環境づくり</li> <li>◆町民マッコヨ化計画</li> </ul>
④【人財育成と郷土愛の醸成】	郷土をますます愛し育む「人財」を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆のへじ祇園まつりの担い手育成</li> <li>◆生涯学習施設における新たな役割と価値の創出</li> <li>◆スポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上</li> </ul>



自由な意見を出し合いました!!

## 野辺地町の皆さまへ

野辺地町は、かつて北前船が行き交い、人・物・文化が交差する交易のまちとして栄えました。交通の要衝として、多くの人が行き交い、磨かれてきた歴史と誇りが、今も町の空気に息づいています。

この誇り高さは、裏を返せば「安易に流されない強さ」でもあります。だからこそ、何か新しいことに挑戦しようとする、慎重な目が向けられるのかもしれませんが、それは、**野辺地を本当に大切に思っているからこそ**です。

でも、誇りがあるからこそ、次の一步を踏み出す力もまた、私たちの中にあるはずです。

私たちの野辺地町を、次の世代へと誇れるかたちで受け継いでいくために、今、私たち一人ひとりが「未来の誇り」を育てる時です。

「出る杭」があれば、「打つ」のではなく、「なぜ出ようとしているのか」「何を見据えているのか」に耳を傾けましょう。誇り高き野辺地だからこそ、**地域を動かす原動力**に変えられるはずです。

町を良くしたいという思いは、みんな同じ。

あなたの声、あなたの行動が、町の未来を変えていきます。

**一緒に、新しい野辺地を育てていきましょう。**

住民アンケート調査では、自由意見を数多く記述していただきました。

町に関してプラスのイメージとマイナスのイメージについて、代表的な意見をまとめてみます。

プラスのイメージ	マイナスのイメージ
●ふれあい食堂のように、子どもから高齢者までが利用できる交流の場があれば良いと思う。	●町の景観を損なわない環境保全活動とPR活動。環境整備（草刈り、除雪、植樹など）を徹底してほしい。
●市場やイベントなどで地元の物を安く提供し、地産地消を推進してほしい。	●町で高齢者施設を建て、町民を安定した給与で雇用することで、人口減少を防ぐような対策が必要。
●「みちのく丸」の利活用や資料館設置など、観光資源の活用を望む。	●十和田市から引っ越してきて、お店が少ない感じがして少し不便でさみしい。
●子どもが安心して住める町、子育て世代にやさしい町になってほしい。	●雪の季節に歩道がなくなる危険がある。特に国道4号線の歩道は整備されていない。
●議員に若い世代が増えれば、町の未来も明るくなると思う。	●前向きに考えてほしいが、人口減少や個人収入の低さが大きな課題。
●若者が活躍できる雰囲気をつくって、定住を促してほしい。	●イベントの時間帯が悪くて参加できない。特に金曜日昼間は避けてほしい。
●学童クラブを土日も開いてほしい。働く親にとって助かる施策になる。	●若い人が定住しにくい。企業誘致や働く場所の創出が必要。
●町のイベント（イルミネーションや商工まつりなど）には子どもと一緒に参加している。	●公共施設（公衆トイレなど）が壊れていて使えない。整備が追いついていない。
●愛宕公園のような自然を大切にしてほしい。	●行政の情報発信が分かりにくく、方向性が伝わってこない。

上記は一部抜粋ですが、全体の自由意見の傾向をみると、「町に不満はあるが、愛着や期待も強い」と分析できます。「声を拾い、形にする」住民参加型の姿勢が極めて重要だと言えます。

住民が参加したくなるような事業にしていくためには、「新しさ」や「ワクワク感」など、事業を主体的に進める人たちが自ら楽しんで実施していくことが重要と考えます。

第3期総合戦略では、自らが楽しむことを前提に、多くの人の意見に耳を傾け、多くの人が関わりたくなるような周知・実施方法を追求し、事業を推進していくこととします。

今までとは少し違う野辺地町をみなさんでつくりだしていきましょう！

# 具体的な施策

## 基本目標① 地域経済の再興と雇用創出

### 現状と課題

農林水産業は担い手不足や施設老朽化で停滞し、商工業も事業者減少が課題です。企業誘致や新たな雇用創出には取り組んでいるものの、十分な効果は得られていません。若者の地元就職促進や情報発信強化など、地域経済を支える基盤整備が引き続き必要です。

### 方向性

農林水産業の高度化や観光資源の活用を軸に、地域に新しい仕事と稼ぐ力を生み出します。商工業や特産品開発を支援し、若者や女性が働きたいと思える雇用を創出します。さらに企業誘致やテレワーク拠点整備を進め、外部から人と資金を呼び込み、持続可能な地域経済を確立します。

### 数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
年間観光入込客数 (人/年)	172,975	300,000
ふるさと納税額 (万円/年)	438.2	1,000

#### 施策①

農林水産業と  
特産品の強化

#### 施策②

観光・交流による  
にぎわい創出

#### 施策③

商工業・  
雇用基盤の強化

## 施策① 農林水産業と特産品の強化

### 基本方向

本町の基幹産業である農林水産業を持続的に発展させるため、担い手の確保・育成とあわせて6次産業化や地産地消を推進します。

葉つきこかぶをはじめとした地域特産品の販路拡大やブランド力強化を通じ、安定した収益と雇用を創出します。あわせて、生産現場等の脅威となっている鳥獣被害に対しては、関係者と連携した体制を構築します。これにより、農作物への被害を最小限に抑えるとともに、捕獲した個体の利活用方法なども検討していきます。漁業では気候変動による高水温被害や資源減少に対応し、多様な養殖やJブルークレジット<sup>注</sup>の活用など経営の多角化を進めます。

林業・畜産業では人材育成や公共施設をはじめとする町内施設の木質化など、森林資源の循環利用を促進します。

これらを包括的に進め、一次産業を若者や移住者にとって魅力ある就業先としていくことで、地域経済の基盤強化につなげます。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
特産品開発・改良件数(品／累計)	0	3
ふるさと納税返礼品の新規登録件数(件／累計)	0	15

### 主な事業

- 新たな特産品開発
- 特産品の販路拡大
- 農業振興
- 漁業振興
- 一次産業の人材の確保・育成
- ふるさと納税推進

## 施策② 観光・交流によるにぎわい創出

### 基本方向

本町の歴史・文化資源や自然環境を観光資源として磨き上げ、町外からの交流人口と関係人口を拡大します。

北前文化を活かした広域連携や地域資源を活かした観光開発やイベント開催による誘客を推進し、町内外の人々が集う機会を増やします。柴崎地区健康レクリエーション施設をはじめとした町有施設の活性化を進め、子どもから高齢者まで楽しめる環境を整備します。

さらに地元企業を支援することにより、地域経済の循環を強化します。

これらにより、観光業と地域商工業が連携し、地域全体で「訪れたい・住みたい」魅力を高めることを目指します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
町観光協会SNSのフォロワー数 (人/累計)	3,000	10,000

### 主な事業

- 町の景観や町有施設の維持及び活性化
- 観光開発・観光誘客
- 観光関連施設の整備
- 町外からの誘客促進
- のへじ祇園まつりを通じた交流人口・出会いの場の拡大

## 施策③ 商工業・雇用基盤の強化

### 基本方向

町内の中小企業や商店街を支援し、持続可能な経営基盤を構築します。

創業や新規事業への挑戦を後押しするための支援金や補助制度を充実させ、若者や女性がチャレンジできる環境を整えます。

あわせて企業誘致を積極的に進め、町内における新たな産業創出を支援し、多様な働き口を確保します。

テレワーク拠点の整備、就労支援、職業体験の提供などを通じて、地域住民や移住者が安心して、多様な働き方を選択・実現できる環境の整備を検討します。

さらに娯楽や商業環境の整備により、地域経済の消費循環を強化します。

これらの取組により、町全体が「働きやすく暮らしやすい地域」として選ばれることを目指します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
事業経営・創業等支援補助金活用件数 (件/累計)	12 (平成28年度からの累計)	50 (令和7年度からの累計)
起業等相談件数(件/累計)	22 (平成28年度からの累計)	30 (令和7年度からの累計)

### 主な事業

- 起業・創業支援
- 企業誘致
- 就労支援
- 事業承継
- 地域経済の活性化対策
- 仕事体験
- 住みながら近隣へ通勤できる町としての体制整備
- 多様な働き方を選択・実現できる環境整備の検討

## 基本目標② 暮らしやすさの向上と定住促進

### 現状と課題

町内において空き家が増加しており、居住環境の質の低下や景観・防犯面の懸念が生じています。移住・定住への関心は高まりつつあるものの、住宅や仕事紹介など受入体制が十分でなく、地域資源を定住促進に活かさきれていないことが課題です。

### 方向性

公共交通や道路整備により生活の利便性の向上を図るほか、空き家活用や住宅支援を通じて移住・定住を後押しします。住民交流の場やイベントを充実させることで、関係人口を含む多様な主体が地域に関わり、地域に愛着を持ち続けられるような環境を整えます。あわせて防災・防犯体制を強化し、災害に強い町を築きます。誰もが安心して暮らし、チャレンジし続けられる「選ばれる町」を実現します。

### 数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
移住者数(人/累計) (支援制度を活用した方又は町に 移住相談経験がある方)	4 (前期計画期間累計)	10 (後期計画期間累計)

#### 施策①

防災・防犯体制  
強化と  
住宅環境整備の  
推進

#### 施策②

生活利便性の  
向上と  
公共交通の充実

#### 施策③

移住・定住促進と  
交流の拡大

## 施策① 防災・防犯体制強化と住環境整備の推進

### 基本方向

誰もが安心して暮らすことができる、災害に強く（自然災害、火災）、安全で強靱なまちづくりを推進するため、ソフト・ハード両面から住民の生命と暮らしを守る社会基盤の構築を目指します。

町内の空き家や住宅資源を有効に活用し、移住・定住を後押しするための支援を強化します。また、若年層や子育て世帯に向けた支援を充実させ、安心して住み続けられる環境整備を進めます。

除雪対策をはじめとした生活基盤の整備を実施し、住民生活満足度を高め、持続可能なまちづくりを推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
自主防災組織数（団体／時点）	8	10
移住相談受付件数（件／年）	30	50

### 主な事業

- 防災力・防犯体制強化
- 冬期の生活対策
- 空き家管理の適正化
- 公園等維持・管理・活性化
- 空き家等関連支援

## 施策② 生活利便性の向上と公共交通の充実

### 基本方向

住民が安心して生活し続けられるよう、交通網や公共インフラを維持・整備します。特に高齢者や通学・通勤者にとって不可欠なバス・鉄道等の利便性確保を重視し、交通弱者の移動手段を確保します。

これにより町内外の交流を支えるとともに、観光や交流人口の増加にもつなげます。また、道路整備を進めることで地域全体の生活基盤を向上させ、安全で快適な暮らしの実現を目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
地域公共交通計画の策定	未策定	策定済

### 主な事業

- 公共交通の維持（バス）
- 公共交通の維持（鉄道）
- 地域公共交通計画の策定
- モビリティ・マネジメントの実施

## 施策③ 移住・定住促進と交流の拡大

### 基本方向

移住相談窓口の充実や情報発信の強化により、若者、女性、子育て世帯に選ばれる町を目指します。

住宅支援と就労支援を一体的に行えるような体制を整備し、定住しやすい仕組みを構築します。

また、多様な関わりを通じた関係人口の創出・拡大を図ることにより、各分野における担い手を確保し、地域活力を維持します。

住民だけでなく、進学や就職を契機に町を離れた方も郷土に愛着を持ち続けられるような環境を整備し、将来的な移住・定住につなげます。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
関係人口として町の取組に関わる人材(人/年)	7	10

### 主な事業

- 移住・定住促進のための環境整備・受入体制強化
- 住民支援体制の充実
- 関係人口創出に向けた取組の充実
- 情報発信の強化・充実
- 地域おこし協力隊制度をはじめとした外部人材活用の充実

## 基本目標③ 安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化

### 現状と課題

本町の合計特殊出生率は国・県平均を下回っており、安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境づくりが求められています。子育て世帯を支援する制度はある程度整備されているものの、県外医療費助成の制限や窓口申請の煩雑さ、町内に産科・小児科がないことによる医療アクセスの不安が課題です。また、保育や療育の支援体制は限られており、DX推進などによる利便性向上が求められています。

### 方向性

結婚を望む方が希望を叶えられるような環境づくりを推進します。出産費用助成など子育て世帯を力強く支援し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。医療・福祉分野の人材を確保し、健診の推進を通じて、高齢者や障がいのある方々を含め、誰もが安心して受診できる医療体制の構築を目指します。地域の実情に応じた支援の実施と関係機関との連携強化により、誰もが健康で自立して暮らせる社会を目指します。

### 数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
出生数(人/年)	34	現状維持

#### 施策①

安心して子どもを  
産み育てられる  
環境の整備

#### 施策②

健康・医療等体制  
の強化

## 施策① 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

### 基本方向

関係機関と連携し、結婚を望む方の希望を叶えられるような環境づくりを推進します。地域の子どもが健やかに育ち、保護者が安心して子育てができるよう、経済的支援の充実と、子どもが安心して過ごせる居場所づくりをはじめ、利用しやすいサービス環境の整備を進めます。

出産費用助成のほか、相談窓口や産前産後ケアの体制を強化し、切れ目ない支援を提供します。

医療費助成制度については、県外医療機関の利用も含めた利便性向上を検討し、保護者の負担を軽減します。

また、子育て関連手続きのDX化を推進し、申請の簡素化や情報発信の充実を図ることで、心理的・時間的負担の軽減を目指します。

これにより、安心して子どもを産み育てられるまちを実現します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
町が実施する結婚支援の利用件数(件/年)	2	4
子どもの居場所設置数(箇所/時点)	0	2

### 主な事業

- 子育て支援体制の充実
- 妊産婦保健指導
- 育休・病休・看護休暇を取りやすい環境づくり
- 子どもの居場所の確保・充実
- 産前・産後ケア事業
- 結婚支援体制整備

## 施策② 健康・医療等体制の強化

### 基本方向

住民が生涯にわたり健康で安心して暮らせるよう、地域医療体制の整備と人材確保を進めます。

医療関係進学者への補助制度や健診・がん検診の推進を通じて、予防医療と医療従事者の確保を両輪で強化します。

また、健康づくり事業の拠点施設である健康増進センターの適正な施設管理に努めるとともに、妊婦健康診査の交通費助成や総合健診の充実により受診機会を広げ、疾病の早期発見・早期治療を推進します。

さらに、医療・福祉・介護の連携を深め、制度の狭間にあるニーズへも対応できる包括的な支援体制を構築します。

これにより、高齢者や障がい者を含めた誰もが安心して受けられる医療・福祉環境を整え、住民が健康で自立した生活を送れるまちを目指します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
特定健診受診率(%/年)	20.8	45.0
地域活動に参加している住民の割合(%/年)	58.7	60.0

### 主な事業

- 医療関係進学者補助
  - 定期健診・がん検診サポート
  - 誰もが安心して医療を受けられる体制づくり
  - 総合健診の実施
  - 医療・介護・福祉人材の確保
  - 分野横断的な包括ケアシステムの構築
  - 高齢者の社会参加の促進
  - 介護予防の充実
  - 町民マッチョ化計画
- ※計画策定のための住民等ワークショップで提案された事業です。詳しい内容はP92をご覧ください。

## 基本目標④ 人財育成と郷土愛の醸成

### 現状と課題

社会教育施設の老朽化により利用環境が不十分で、学びや交流の機会が限定されています。また、子どもたちの学びを支えるICT支援員やスクールサポーターの人員不足、町内高校の生徒数の減少などにより、次世代を担う人財の育成環境が十分に整っていません。地域資源を活かした教育活動や住民参画の仕組みの強化や、郷土愛を育む機会の拡充が課題です。

### 方向性

郷土学習やキャリア教育を通じて地域を誇れる人財を育成します。生涯学習や文化活動を推進し、住民が学び続けられる環境を整えます。さらにスポーツや歴史学習、多世代交流を推進し、町民同士のつながりと郷土愛をいっそう深めます。未来を担う人財が地域に根ざし、活躍できる町を実現します。

### 数値目標 (KGI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
住民基本台帳に基づく15歳から39歳の人口割合(%/年)	18.8 (2025年1月1日)	18.8 (2031年1月1日)

#### 施策①

郷土学習と  
文化継承の推進

#### 施策②

生涯学習と  
多世代交流の充実

#### 施策③

青少年の健全育成と  
次世代人財の発掘

## 施策① 郷土学習と文化継承の推進

### 基本方向

地域の歴史や伝統芸能、郷土文化を次世代に継承することは、住民の誇りと郷土愛を育む基盤となります。

幼少期からふるさと学習や歴史講座を実施し、地域を舞台とした体験型教育を充実させることで、子どもたちの学びと郷土への関心を高めます。

また、地域団体や学校と連携して、文化活動や芸術活動の場を拡充し、住民が主体的に学び・発信する仕組みの構築を目指します。

継続的な学習・活動を通じて、郷土を愛し、地域を支える人財を育成するとともに、地域文化の保存と活用を両立させ、未来に向けて誇れる地域づくりを進めます。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
文化財のデジタル化(点/時点)	0	18
ふるさと学習実施件数の維持(件/年)	3	3

### 主な事業

- 文化財活用事業
- ふるさと学習事業
- のへじ祇園まつりの担い手育成
- 文化財のデジタルアーカイブ化
- 学校と連携した歴史・文化の活用
- 日本遺産「北前船寄港地」による他自治体・団体との連携

## 施策② 生涯学習と多世代交流の充実

### 基本方向

誰もが生涯にわたり学び続けられる環境を整えることは、住民の自己実現と地域の持続可能性に直結します。

生涯学習施設では、多様な学習機会を提供し、幅広い世代が交流できる場を創出します。

また、各種サークルやボランティア活動、地域ふれあい交流会を推進し、多世代が互いに学び合い、支え合う関係を強化します。

特に若者の地域活動の参画を後押しすることで、将来を担う人財の育成と地域への定着を図ります。

住民同士の交流を活性化することで、郷土愛を育み、共生社会の形成につなげます。

### 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
担い手の確保と育成(人/年)	19	20

### 主な事業

- 各種サークル活動の充実
- 生涯学習施設における新たな役割と価値の創出
- 地域ふれあい交流会
- 図書館におけるデジタル化の推進
- 生涯学習の充実
- 町民が気軽に集まれる居場所づくり

## 施策③ 青少年の健全育成と次世代人財の発掘

### 基本方向

将来の地域を担う若者の育成は、持続的なまちづくりの基盤です。

学校・家庭・地域が連携し、ICT教育やキャリア教育を通じて、社会を生き抜く力を養うとともに、地域活動に積極的に参画する仕組みを整備します。

青少年健全育成推進委員会の活動や青年ボランティア活動を支援し、若者の地域参画意識を高めます。

また、地域の担い手やコーディネーターを発掘・育成するとともに、住民が主体となって活動を展開できる体制を整備することで、次世代に地域を引き継ぐ基盤を強化します。

若者が誇りを持って地元に関わり、地域に根ざした活躍ができるよう、教育・スポーツ・交流・活動機会を一体的に推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
地域活動参画者数(人/年)	144	160
スポーツイベント・講習会等参加者数(人/年)	551	500

### 主な事業

- 青少年健全育成推進委員の活動
- 在学青年ボランティア活動
- スポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上
- 協働のまちづくりの推進

# 💪 町民マッチョ化計画! 💪 ～健康と安全を守る、筋肉革命はじまる～

## 1 目的

### 「筋肉は町を救う！」

健康な体で医療費を抑え、非常時には頼れるマッチョに変身！  
鍛えた筋肉で、避難支援や地域の見守りもバッチリ！

#### 📌 助成内容 (例：年間最大〇〇円まで！)

- パーソナルトレーナー指導料 🏋️
- ジム利用料&交通費 🚶 🚗
- プロテインなどサプリ代 🍷
- ダンベルなどの筋トレ器具 💪

※町営ジムの利用料は割引あり！

#### 📌 助成条件 (どれかに参加！)

- ✓ 消防団・民生委員・避難支援者など地域の担い手
- ✓ 町内イベントや見守り隊の役員
- ✓ PTA、子ども会、スポーツ指導者など

役職に応じて助成レベルUP！

#### 👤 対象者

- 町民、または町で働く近隣住民
- 筋トレしたい人、全員集合！

#### 💡 なぜ今マッチョ？

災害時には「助けられる側」から「助ける側」へ！町の未来は、あなたの筋肉にかかっている！

## 🏋️ スローガン

### 「テストステロンで地域を元気に！」

～今日もプロテイン飲んで、明日も地域を守る！～

📞 お問い合わせは まで

本事業は、住民等ワークショップで提案されたものであり、詳細が決まっているものではありません。